

執筆者紹介 (氏名/所属/主要業績)

【編者】

三好恵真子 (みよし えまこ) [刊行に寄せて]

大阪大学・人間科学研究科・教授

『現代中国社会変動與東亜新格局第二輯、第一輯』(社会科学文献出版社、2020年、2012年、共著)

『バイオサイエンス時代から考える人間の未来』(勁草書房、2015年、共著)

『共進化する現代中国研究—地域研究の新たなプラットフォーム—』(大阪大学出版会、2012年、共編著)

『忘れてはならない環境ホルモンの恐怖—子どもたちの未来を守るために—』(大学教育出版、2003年)

Gums and Stabilizers for Food Industry, Vol.11, Vol.10, Vol.9 (The Royal Society of Chemistry, 2002, 2000, IRL Press, 1998, joint authorship)

The Series Progress in Colloid & Polymer Science; Physical Chemistry and Industrial Application of Gellan Gum (Springer, 1999, joint authorship)

林礼釗 (LIN Lizhao) [レスポンス③]

大阪大学・人間科学研究科・特任研究員/法学研究科・招へい研究員

「戦後中国の言論空間と憲政批判(1946-1948)—『観察』『周論』『新路』を素材に—」(『阪大法学』第70巻3・4号、2020年)

「戦後中国自由主義知識人の『経済民主』論争(1945-1949)—『観察』『周論』『新路』を素材に—」(『阪大法学』第69巻3・4号、2019年)

「儲安平の民主思想—『観察』時期と共和国初期の関係について—」(『史学研究』第295号、2017年)

吉成哲平 (よしなり てっぺい) [報告①・あとがき]

大阪大学・人間科学研究科・博士後期課程

『写真家 星野道夫が問い続けた「人間と自然の関わり」』(三好恵真子監修、大阪大学出版会、2021年)

「写真家たちが向き合った1970年前後の現実—「写真100年」展を通

じた明治期以来の記録への内省―(『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』49号、2023年、印刷中、共著)

「写真家 東松照明が直面した「基地の中の沖縄」―日米の狭間で揺らぐ復帰前の現実と歴史への責任―(『生活学論叢』41号、2022年、共著)

「インターフェイス」から捉え続けたひとびとの暮らし―写真家 東松照明の眼に映り込んだアメリカニゼーション―(『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』48号、2022年、共著)

「戦争の影」を抱え展開し続ける「写真実践」―東松照明が生活の現場から証した、長崎の被爆者の生と死―(『生活学論叢』39号、2021年、共著)

【執筆者】

鄒燦 (ZOU Can) [報告②]

南開大学・日本研究院・副教授

『近現代東アジアの地域秩序と社会』(瀧口剛編、大阪大学出版会、2020年、分担執筆)

「日中全面戦争時期の台湾における国民精神総動員」(『阪大法学』第70巻3・4号、2020年)

『「盧溝橋事件記念日」をめぐる日本と中国―政治的語りに見る日中戦争像の比較研究―』(大阪大学出版会、2018年)

「盧溝橋事件とその後の中国共産党―対国民党政権の展開と抗日を中心に―」(『現代中国研究』第32号、2013年)

岡野翔太/葉翔太 (おかの しょうた) [報告③]

大阪大学・レーザー科学研究所・特任研究員/人文学研究科・招へい研究員

『二つの時代を生きた台湾―言語・文化の相剋と日本の残照―』(林初梅・所澤潤・石井清輝編、三元社、2021年、分担執筆)

『「亡国の越境者」の100年―ネットワークが紡ぐユーラシア近現代史―』(風響社、2020年、共著)

『交錯する台湾認識―見え隠れする「国家」と「人びと」―』(勉誠出版、2016年、共編)

衛(卫)娣 (WEI Di) [話題①]

愛知大学・国際中国学研究センター・研究員

『現代中国の経済と社会』(竇少杰・横井和彦編著、中央経済社、2022年、分担執筆)

「中国企業のイノベーション戦略—美的集団 (Midea 社) を事例として—」(『経済学論叢』第73巻第1号、2021年)

「モバイル決済の国際比較研究—スウェーデンと中国について—」(『アジア経営研究』26巻、2020年)

「中国企業におけるビジネスモデルの転換—インターネット・ビッグデータとの融合—」(『比較経営研究』第43号、2019年)

許俊卿 (XU Junqing) [話題②]

大阪大学・人間科学研究科・博士後期課程

「中国における PM2.5 問題に対する情報収集行動とリスク認知に関する実証的研究—リスク認知の構造の内に見出された個人の主体性にまつわる検討—」(『アジア太平洋論叢』24号、2022年、共著)

「中国における社会・文化的に構築されるリスクに関する研究の変容と今後の展望」(『Co*Design』11号、2022年、共著)

A Consideration of Media Environment Regarding Air Pollution Problems in China: Based on the Content Analysis of the Reports of “People’s Daily” from Jan. 1, 1970 to Nov. 30, 2011 (*International Joint Conference on Information, Media and Engineering* 2018、共著)

張曼青 (ZHANG Manqing) [話題③]

大阪大学・人間科学研究科・博士後期課程

「新中国建国後の肥料農法の漸進的な転換と農民の主体性—「土化肥」の使用を基軸とした考察—」(『村落社会研究ジャーナル』58号、2023年、印刷中、共著)

「中国皖南都市公共スペースでの「アウトロー」農業—「県城」で生活する離土離郷人々がなぜ農業から離れないのか—」(『アジア太平洋論叢』24号、2022年、共著)

「農民対有機農業実践の意義賦予の演変与環境保全の主体形成：以日本宮城県大崎市田尻地区的一位有機農戸の生活史为中心」(『「現代中国与東亜新格局」国際研讨会 2021 年線上学术交流會論文集』、2021年)

許衛東 (XU Weidong) [ディスカッサント①]

大阪大学・経済学研究科・准教授

『現代中国変動與東亜新格局 (第二輯)』(田中仁ほか編、社会科学文献出版社、2020年、分担執筆)

『世界地名大事典 アジア・オセアニア・極Ⅰ、極Ⅱ』(竹内啓一総編集、朝倉書店、2017年、分担執筆)

『共進化する現代中国研究』(田中仁・三好恵真子編著、大阪大学出版会、2012年、分担執筆)

『世界地誌シリーズ2 中国』(上野和彦編、朝倉書店、2011年、分担執筆)

『現代中国の社会変容と国際関係』(汲古書院、2008年、共編著)

小林清治 (こばやし せいじ) [ディスカッサント②]

大阪大学・人間科学研究科・准教授

「中国における廃棄物処理施設をめぐる紛争に関する実証研究—「二重の社会的不正義」の再検討と環境正義の多次元性からの考察—」(『生活学論叢』36・37号、2020年、共著)

「廃棄物処理施設をめぐる紛争に関する研究の日中比較—中国における事例研究への示唆—」(『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』46号、2020年、共著)

「塩ビ=ダイオキシン問題の知識社会学・試論—久喜宮代衛生組合における社会的合理性と科学的合理性の対抗的相互補完関係—」(『開発と環境』1巻、2000年)

「自然の社会化と環境リスク—環境リスクの社会学的位相—」(『大阪外国語大学論集』19号、1998年)

「アンドリュウ・フィーンバーグ『テクノロジーの批判理論』における方法」(『情報問題研究』8号、1996年)

周雨霏 (ZHOU Yufei) [ディスカッサント③]

帝京大学・外国語学部・専任講師

The Concept of “Oriental Despotism” in Modern Japanese Intellectual Discourse (*The International History Review*, 2022)

「戦前・戦中期日本のアジア社会論における〈アジア的なもの〉—概念の形成と意味の変遷—」(『日本思想史学』第48号、2016年)

「カール・奥古斯特・魏特夫の早期思想与“東洋社会論”」(『中国社会歴史評論』第17号、2016年)

冷昕媛 (LENG Xinyuan) [レスポンス①]

大阪大学・人間科学研究科・博士後期課程

「中国社会転換期における環境 NGO と環境ガバナンスに関する再考—「国家-社会」から「制度-生活」へのパラダイムの転換—」(『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』49号、2023年、印刷中、共著)

「中国社会転換期における若い世代が牽引する新しい環境 NGO の課題と展望—ライフストーリーから読み解く光と影—」(『アジア太平洋論叢』24号、2022年、共著)

王石諾 (WANG Shinuo) [レスポンス②]

大阪大学・人間科学研究科・博士後期課程

「国際結婚で福島県に嫁いだ中国人女性の主体性とその形成過程—東日本大震災経験者のライフストーリーから読み解く—」(『アジア太平洋論叢』24号、2022年、共著)

「コロナ禍において「境界」に生きる在日中国人—生活実践とライフストーリーからの考察—」(『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』47号、2021年、共著)

田中仁 (たなか ひとし) [レスポンス④]

大阪大学・名誉教授/公益財団法人東洋文庫・研究員

『現代中国変動與東亜新格局 (第二輯)』(社会科学文献出版社、2020年、共編)

Historical narratives of East Asia in the 21st century : overcoming the politics of national identity (Translated by Odagiri Jake and Zhou Yufei, Routledge, 2020、編著)

『1930年代中国政治史研究—中国共産党の危機と再生—』(勁草書房、2002年)